「しんぶん赤旗」（2014/06/19 付）

大型開発より都民の暮らし守る施策を

17日の東京都議会代表質問で、日本共産党の、かち佳代子都議は、不要不急の大型開発事業を抜本的に見直し、都民の命、暮らしを守り向上させる施策を充実するよう舛添要一知事に求めました。

都議会 かち議員の代表質問

くらし・福祉

消費税増税深刻

かち氏は、4月の消費税増税で暮らしと経済が深刻な影響を受けていると指摘。「消費税の10％引き上げは許してはならない」と強調しました。

国民健康保険料の滞納世帯が増えていることをあげ、都民の負担を軽減するために財政支援を行うよう、知事に求めました。

質問するかち佳代子都議。右手前は舛添要一都知事＝17日、都議会

保育・特養ホーム

緊急対策も要求

かち氏は党都議団の調査で4月1日付で認可保育所に申し込み、入れなかった子どもが約2万人に増えていることをあげ、待機児解消の緊急対策を要求。また、「特別養護老人ホームの増設も切実な願い」だとして、用地費や整備費、運営費などへの支援を求めました。

質問に対し、中井敬三財務局長は、認可保育所や特養ホームの増設のために都が設置した検討チームの検討状況について「今後情報提供の手法や土地貸付料など具体的に検討し、夏までに取りまとめを行う」と答えました。

認知症対策

充実は急務です

かち氏は、認知症の行方不明者が全国で1万人にのぼることをあげ、「認知症対策の充実は急務」だとして対策の拡充を求めました。

舛添知事は認知症疾患医療センターの設置、グループホームの整備促進、予防、治療などに積極的に取り組んでいくと答弁しました。

中小企業

税負担増やすな

かち氏は、安倍政権が296兆円もの内部留保をため込む大企業には法人税の大幅減税を計画する一方、中小企業には外形標準課税の強化で税負担を増やそうとしていると批判。逆立ちした税制改悪に反対の声をあげるべきだと迫りました。

中井財務局長は「外形標準課税は、中小企業への拡大は慎重であるべき」だと答えました。

防災

予防対策重視を

防災対策について、かち氏は国が今年策定した「首都直下地震緊急対策推進計画」で予防対策の重要性をあげている点にふれ、予防対策重視に立ち返るよう求め、都の緊急対策実施計画策定を提案しました。

中西充総務局長は「（都の）緊急対策実施計画は防災プランの策定にあわせて検討する」と答えました。

長期ビジョン

4項目提案示す

かち氏は、都が策定する長期ビジョンに①認可保育園、特養ホームの増設②非正規労働者の正規化や小規模企業の底上げを含めた雇用・中小企業対策の拡充③再生可能エネルギーの利用割合20％達成④少人数学級の推進、都立高校・特別支援学校の増設・拡充―を盛り込むよう提案。都は、待機児・待機者解消、特養ホームの整備などの工程表を長期ビジョンで示すと述べました。